



平成28年度 第1回桜ヶ丘まちネット全体会を開催しました

6月25日(土)に開催した全体会での多摩市からのお話と各団体からの主な報告をお伝えします。

「高齢者が地域で安心して暮らすためのまちぐるみ応援団」(住民参加型講座)の案内が多摩市高齢支援課田島佐知子係長からありました。多摩市では、増加する高齢者対策として、「毎日を元気で」の実現を進めていますが、10年後の状況を見据えて、地域に合った対策を考察しています。住み慣れた地域で安心して暮らすためには、住民相互の助け合いが必要になります。その実現には、高齢者に寄り添うシステムの構築が大切となりますので、地域の皆様と一緒に、今から出来ることを考える講座を開催し、今後共に検討していきたいと思えます。

◆桜ヶ丘いきいき元気センター

通所型短期集中予防サービス 8月からの新利用者を募集している。内容は、運動機能向上・認知機能向上・口腔機能向上・栄養改善である。

◆自治会・連合会

桜ヶ丘連合会会員名簿 11月頃更新発行予定、春の防災訓練 140名参加、街灯のLED化継続中。

◆桜ゆうゆう会

今年度より、まちネットと共催して月一回行うことになった。



◆ゆう桜ヶ丘

ゆう桜ヶ丘夏まつりは自治会・児童館との共催で、8月19日(金)、20日(土)に開催する。

◆民生児童委員

9月末より友愛訪問が始まる。独居の高齢者も増えている。高齢者のみではなく子ども達の見守りも行っている。

◆にこにこサロン

高齢者介護、権利擁護、介護予防等の相談を「福祉なんでも相談」の日に受け、関係機関に繋げた。

◆桜ヶ丘駐在所

振り込み詐欺被害は減少。ヘッドフォンのながら歩行、女性の夜間一人歩きは要注意。若い世帯の増加に伴い子供が増えている。町の皆さんの見守りが重要である。



桜ヶ丘まちネット(桜ヶ丘地域福祉推進委員会)について

多摩市では、自治基本条例の中で「まちづくり」について、行政主体ではなく地域住民と行政が役割を持ちそれぞれが責任を持って進めていくと定めており、第5次多摩市総合計画における「多摩市地域福祉計画」の中では、多摩市としても「地域福祉推進委員会」を推進していく旨が記載されています。まちづくりの主役は住民であり、桜ヶ丘まちネット(桜ヶ丘地域福祉推進委員会)は地域住民を中心に地域で活動する団体、専門機関、多摩市、社会福祉協議会と連携して「まちづくりを進めていく」ネットワークです。

新体制の西部地域包括支援センターから

4月から梅田・栗原・中村・寺尾の4人体制になりました。
包括支援センターが把握している現在の桜ヶ丘地区の問題点について
以下の説明がありました。



多摩市の高齢化率は26.5%、桜ヶ丘地区は34.9%です。

桜ヶ丘では、戸建てでの一人暮らしが多く見られます。家族の通い介護も多いため、緊急時の対応に難しい場合があります。介護サービスを受けている認知症の方、引きこもりの方等には、地域の方々の助け合いも見られます。公的な制度だけでは、解決が困難なものもあり、地域のネットワークは不可欠です。地域の住民同士が見守り、助け合い協力する、その横のつながりを大切にして、包括支援センターとしてもサポートしていきたいと考えています。

西部地域包括支援センター

☎ 042-389-8850



にこにこサロンから



にこにこサロンでは、今年度より、月に1回、桜ゆうゆう会と共催して様々な催しを企画します。また、和室では順次、趣味の会を開く予定です。4月より第2週の木曜日には、俳句の会を開いており、楽しいひとときを過ごしています。

場 所：桜ヶ丘集会所



日 時：毎週木曜日

午後1時30分～4時30分

参加費：200円

第4週に実施している「福祉なんでも相談」は、9月から第1週に行います。
お気軽にご相談ください。

7月7日（木）
「天ぷらと素麺の会」を桜ゆうゆう会
と共催。食後、伊藤駐在さんから
防犯についてのお話がありました。

8月11日、18日は、にこにこサロンお休みです。

～講演会の予定～

10月下旬に ゆう桜ヶ丘ホールIにて、昨年に引き続き、
「あいクリニック中沢」院長 亀谷先生にお話して頂きます。ぜひご参加ください。

編 集：桜ヶ丘まちネット 広報部会

問合せ先：多摩市社会福祉協議会 地域福祉推進課 まちづくり推進係

電話 042-373-5616

